

↑ 森林の道路整備と搬出間伐 ↑

森林の道路には、走行する車両と目的に応じて「林道」「林業専用道」「森林作業道」という3種類の道路があります。

現在、日野管内では大型トラックが走行可能な丈夫で簡易な構造の林業専用道を開設するため、各関係者が協力して整備を進めています。

林業専用道の普及活動

6月に開催された日野建設業協会との意見交換会で、林業専用道について活発なご意見をいただきました。

また、7月には森林組合などの事業実施主体と土木関係建設コンサルタントを対象とした林業専用道作設のための研修会を開催し、多くの方々が参加されました。

林業専用道ができるまでの手順

まずは、森林の整備が計画されている地域で、特に間伐材を市場等へ搬出するための道が不足している地域を選定します。

開設する地域が決まったら、森林組合・地元関係者・林業改良指導員等で現地を踏査して、最適な路線の位置を定めていきます。

その後、測量・設計を行い、建設業者へ工事を発注します。最小限の経費で丈夫な道を作るため、工事中に現場で発生した転石や根株も利用するなど工夫しながら工事を進めていきます。

林業専用道の効果

間伐された木材は沿線に設けられた土場施設へ一旦集積され、大型トラックに積載して木材市場等へ運搬されます。林業専用道設置前は、舗装された林道までの運搬は林内作業車や2トン程度のトラックで行われていましたが、大型トラックが通行可能な林業専用道ができると大幅な時間短縮とコストの削減に繋がります。

日野管内でも林業専用道の開設が始まってから4年目になり、間伐材の搬出量は年々増加しています。

今年度も日野管内では、日南町中石見地区など9路線の林業専用道が開設中で、更なる森林整備の推進に向けて取り組みが進んでいます。

問 | 日野振興局 農林業振興課 電話:0859-72-2022 FAX:0859-72-2125

林業専用道と森林作業道のイメージ図



研修会の様子



パソコンなどを使いながら現地で踏査



道路沿線の土場へ間伐材を集積



トラックで木材市場等へ搬出

🐟 日野川上流域と下流域の交流 🐟

日野川の源流と流域を守る会（豊島良太会長）は、日野川上流域と下流域のお互いの理解を深めるため、日野川流域にお住まいの住民を対象に、6月13日（土）、境港市で「境港水産体験学習交流会」を開催しました。

このような企画は会としては初めてで、上流域と下流域の人達が合わせて45名参加されました。

午前中は沿岸漁業で賑わう中野港漁村市へ。あいにくこの日に限って魚の水揚げがなくとも残念でしたが、境港水産振興協会のおさかなガイドのもと、境港漁港や市場、魚の水揚げビデオなどを見学。昼には山と海の幸の昼食で交流し、大いに盛り上がりました。

午後からは、日本一のはく製水族館といわれる「海とくらしの史料館」で多くの種類の魚等の展示にびっくりし、境港の発展のもととなった「たたら」の歴史・文化について、伯耆国たたら顕彰会に電子版紙芝居を使って解説していただき、大人も子供も釘付けでした。

この交流学习会によって、参加者は海の恵みの豊かさを実感し、海と山のつながりを学び、そして、境港市の地元の方と交流して絆を深めました。

日野川の源流と流域を守る会は、今度は秋に日南町で森林整備体験による学習交流会を開催し、更に上流域と下流域の交流を深め、日野川流域の自然環境を守っていきます。



鮮魚が並ぶ中野港漁村市



おさかな博士のガイドさん



山と海の幸で交流



海とくらしの史料館見学



たたらを電子版紙芝居で解説

これからの活動紹介

10/18(日) 10:00-
地域の自然を守る活動ボランティア
 秋の大山山麓で外来植物を退治！自然観察もして、地域とふれあい、自然と景観を守ろう！
 ・場所…江府町御机
 ・定員…50名

11/8(日) 10:00-
水源かん養林での森林整備体験交流
 上流域と下流域の人達が森林整備体験で交流し絆を深め、共に森林の大切さを学ぼう！
 ・場所…日南町印賀ほか
 ・定員…50名

問 | 日野振興局 地域振興課 電話:0859-72-2085 FAX:0859-72-2072